

2017（H29）年度 第1回苫小牧市美術館協議会

日 時 2017年6月29日（木） 13時20分～14時45分

会 場 苫小牧市美術博物館1階研修室A

出席委員 日浦委員、居島委員、高城委員、入江委員、林委員、橋爪委員、金田委員
計7名

欠席委員 坂元委員、高谷委員、村井委員、

事務局 （教育委員会）瀬能部長

（美術博物館）荒川館長、武田主査、小泉主査、宮地主任学芸員、
小玉主任学芸員、細矢主任学芸員、福田学芸員
佐藤（麻）嘱託学芸員、

※開会前に、全委員から「二次評価シート」を集める。宮地主任学芸員が集計。集計終了後、議事進行中に配付（前回の意見を踏まえて「中央値・判定の内訳を明記」「意見については集計・明記せず。発言したい方には議事の中で話してもらおう」という形で記載・集計）

1 開 会 小泉主査

2 会長挨拶 日浦会長

3 議案（日浦会長が進行）

（1）議案1 平成28年度 事業報告について

（2）議案2 平成29年度 事業計画について

（3）議案3 平成29年度 予算について

（4）議案4 平成28年度苫小牧市美術博物館自己点検評価について

（5）その他

（1）議案1 平成28年度 事業報告

事務局から簡単な事業内容と実施日時、参加人数を報告した。「Music in Museum」と特別展との連携方法についての質問と、勇武津資料館で実施している植物観察会について、観察会のたびに経年で海岸の写真記録を残しているが、データ蓄積のためGPSを導入するよう提案を受けた。

（2）議案2 平成29年度 事業計画

事務局から説明。勇武津資料館体験教室の「機織り教室」について、定員を増やすための意見が挙がったが、機と材料の関係で難しい旨、事務局から説明をした。

また、2020年に白老に国立アイヌ博物館が開館するのに伴い、当館の資料や活動と連携して、何か一緒に事業を展開するための対応を考えてほしい、と要望があった。

また、他課で作成している文化財関連の冊子の編集にあたって意見があった。

(3) 議案3 平成29年度予算について

事務局から説明。歳入の雑入の内容と、助成金の内容について質問が挙がった。また、調査研究費用について、学芸員が調査研究に使用できる金額について質問と要望があった。

(4) 議案4 平成28年度苫小牧市美術博物館自己点検評価について

事務局から説明。集計結果は、中央値を選択して全項目Aという集計結果になった。評価項目によっては、委員の評価の内訳もばらつきがあるため、内訳についても公表をきちんとするように再度確認の意見が挙がった。特に「調査研究」の評価は「A評価」「B評価」に二分されており、学芸員の調査研究費について、各自の担保できる予算の獲得と体制の構築について意見があった。

また、一部行事についての意見の中で、アートフェスティバルと美術博物館祭の連動性や、今後の方向性について質問と意見があった。

(5) その他

平成28年度寄贈資料および購入資料について、贈資料、購入資料の内訳、主な受領資料について事務局から報告を行い、一部資料について詳細の説明を求められた。

また、他施設との展示の連動についても質問があった。

また、事務局から、6月25日(日)に、苫小牧アイヌ協会と相談の上、当館でイチャルパ、カムイノミ(先祖供養)を実施した旨を報告した。

以上